



©2005 石塚真一/小学館

第 329 号(令和6年(2024 年)2月8日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

～山岳遭難の現場から Mountain Rescue File No.1～

今回は、昨年 12 月 25 日に八ヶ岳連峰で発生した遭難を題材に、登山中のリスク対策や事前準備の重要性について皆さんに考えていただきたいと思います。

https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/mountain_rescuefile.html 長野県警察 山岳情報

<https://www.yamakei-online.com/yama-ya/detail.php?id=2961> 山と溪谷オンライン 編集・転載

<https://yamahack.com/6030> YAMA HACK 編集・転載

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

1 月 4 週は、1 件の山岳遭難が発生しました。

スキー場を滑走していたところ、管理区域外へ迷い込んで行動不能となったものです。

スキー場の立入禁止エリアを滑走中、立木に衝突したり、他の滑走者と衝突するといった、スキー場内での事故も発生しています。

スキー場には、滑走禁止エリアや管理されていないエリア(管理区域外)があります。スキー場を利用する際は、スキー場が定めるルールとマナーを守り、他の滑走者との衝突に注意して安全に滑走しましょう。(管理区域外での怪我や道迷いは山岳遭難です。)

2 月 1 週は、4 件の山岳遭難が発生し、全てバックカントリー中の遭難でした。

2 月に入ってから、バックカントリー中の遭難が多発しています。

1 週の遭難は、スキー場を滑走する感覚でバックカントリーエリアに出て、現在地が分からなくなってしまったものです。日没間際の救助要請だったため、翌朝、救助隊が到着するまで遭難者らはその場でビバークをせざるを得ない状況でしたが、冬山装備やビバーク装備等の携行はありませんでした。状況によっては、低体温症で命を落としてしまう危険もあるため、バックカントリー滑走の際は、最低限のビバーク装備を携行してください。

バックカントリースキー・スノーボードは、管理されたスキー場内と異なり、自然の山の中を滑走するため、スキー場では味わえない開放感が魅力ですが、その魅力とリスクは表裏一体であることを忘れてはいけません。

山中では、天候や気温、標高によって大きく状況が変化します。単純な滑走能力だけではなく、山中で安全に行動するための判断力と経験が必要になります。スキー場からバックカントリーエリアへ出る場合は、「冬山」へ踏み込むという認識を持ち、事前に地図等でルートを確認するなどしっかりとした計画を立てて、届出をし、冬山装備や雪崩対策装備、ビバーク装備等を携行した上で慎重な行動をお願いします。

発生状況:

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
1月22日	下高井郡山ノ内町大字平隠の山林内	男	32	無事救出	道迷い	スキー場を滑走中、 管理区域外 へ迷い込み、道に迷い、行動不能
2月2日	毛無山	男	32	無事救出	道迷い	バックカントリー を滑走中、道に迷い、行動不能
		女	23	無事救出	道迷い	
2月2日	毛無山	男	55	無事救出	道迷い	バックカントリー を滑走中、道に迷い、行動不能
2月2日	毛無山	男	63	無事救出	道迷い	バックカントリー を滑走中、道に迷い、行動不能
2月3日	瑠璃山	男	51	無事救出	道迷い	バックカントリー を滑走中、道に迷い、行動不能

令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況(令和6年(2024年)1月1日~2月4日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年(2024年)	19	4	0	4	14	22	8
内)バックカントリー	10	2		1	8	11	3
内)単独登山	5				5	5	0
令和5年(2023年)	24	5	2	8	16	31	15
前年同期比	-5	-1	-2	-4	-2	-9	-7
内)バックカントリー	+3	-1	-2	±0	+2	-1	-3
内)単独登山	-4	-1	±0	-3	±0	-4	-4

■山域別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月4日)

区分		件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0	0
	後立山	6	31.6%	2	0	1	3	6
	その他	1	5.3%	1	0	0	1	2
	計	7	36.8%	3	0	1	4	8
中央アルプス		1	5.3%	0	0	0	2	2
南アルプス		0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰		6	31.6%	1	0	3	2	6
その他の山岳		5	26.3%	0	0	0	6	6
計		19		4	0	4	14	22

■態様別発生状況(令和6年(2024年)1月1日～2月4日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	2	10.5%	0	0	2	0	2
転倒	2	10.5%	0	0	2	0	2
病気	1	5.3%	0	0	0	1	1
道迷い	7	36.8%	0	0	0	9	9
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	10.5%	2	0	0	1	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	3	15.8%	1	0	0	2	3
不明・他	2	10.5%	1	0	0	1	2
計	19		4	0	4	14	22

■男女別・年齢別比率(令和6年(2024年)1月1日～2月4日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	6 37.5%	0	0	0	0	0	1 16.7%	0	7 31.8%
20代	0	0	1	2	3		0	0	0	1	1		4	
30代	1	0	0	2	3		0	0	0	0	0		3	
40代	2	0	0	3	5	9 56.3%	0	0	0	1	1	5 83.3%	6	14 63.6%
50代	1	0	0	3	4		0	0	3	1	4		8	
60代	0	0	0	1	1	1 6.3%	0	0	0	0	0	0 0.0%	1	1 4.5%
70以上	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	
計	4	0	1	11	16		0	0	3	3	6		22	
比率	72.7%						27.3%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝